

ネットワーク スキャナーツール

ユーザーガイド

Version 3.5.01

SHARP®

著作権

このソフトウェアの著作権は、シャープ株式会社にあります。著作権法で許諾される場合を除き、無断で複製、転載、翻訳することはできません。

登録商標

SHARP®はシャープ株式会社の登録商標です。

Microsoft®および Windows®は Microsoft 社の登録商標です。

Internet Explorer®は Microsoft 社の登録商標です。

その他、本書の中で記載されている会社名や商品名は、各社の登録商標です。

目次

第1章 概要	1
はじめに	1
本マニュアルについて	2
ユーザーガイドの構成	2
用語の定義	3
必要なシステム環境	3
ネットワークスキャナーツールの設定	4
第2章 ネットワークの準備	5
はじめに	5
手順1: Network Policy を決定する	6
手順2: DHCP と DNS サーバーを設定する	6
手順3: スキャナーのネットワーク設定を行う	6
手順4: ネットワーク環境をユーザーに説明する	6
トラブルシューティング	7
テクニカル情報	8
第3章 ネットワーク スキャナーツールをインストールする	9
はじめに	9
ネットワークスキャナーツールのインストール	10
ネットワークスキャナーツールセットアップウィザード	12
第4章 ネットワーク スキャナーツールを使う	17
はじめに	17
ネットワークスキャナーツールメニューにアクセスする (システムトレイアイコン)	18
開く	18
スキャン通知	18
起動/停止/終了	18
プロファイル更新	19
プロファイル定期更新	20
ネットワークスキャナーツールのバージョン情報	21
ネットワークスキャナーツールの設定を行う	22
プロファイルタブ	22
新しいプロファイルを登録する	23
プロファイルのプロパティ名前ー	24
デスクトッププロファイル	24
プロファイルのプロパティー画像処理ー	24

PDF を WEB 用に最適化する	26
アウトプットオプション	26
プロファイル設定を確認する	30
プロファイル設定を削除する	30
プロセス定義のデフォルト設定を行う	31
スキャナータブ	32
スキャナーのプロパティを確認/変更する	35
スキャナー登録を削除する	35
スキャナーを使用可能/使用不可にする	35
自動検知	35
プロキシサーバー対応	36
Web 設定	36
リストの初期化	37
システムオプション タブ	38
FTP ポート番号	38
ファイルの受信のみ許可します。	39
パスワード設定機能の無いネットワークスキャナーを利用する場合は、チェックしてください。(デフォルト)	39
パスワード設定機能が利用可能なネットワークスキャナーを利用する場合、チェックしてください。セキュリティを強化します。	39

第1章 概要

はじめに

シャープのネットワークスキャナーツールによろこそ！このソフトウェアを使うと、ネットワークスキャナー拡張キット搭載の **SHARP** 製複合機と **Windows** 搭載の **PC** 間で、**TCP/IP** ネットワークスキャンができます。ネットワークスキャナーツールを使って、お使いの **PC** に送られる画像データに、次の処理を自動的行なうことができます。

- フォルダーに格納する
- コマンドラインオプションをつけて各種アプリケーションに渡す
- 電子メールの添付ファイルとして送信する
- Sharpdesk に渡して次の処理が行えます
 - テキスト変換
 - 画像処理
 - デスクトップドキュメント管理
 - コメント付けと異なる形式のファイルの結合

本マニュアルについて

本マニュアルは、Windows の基本知識を身につけた方を対象に書かれています。ここでいう基本知識とは、PC の起動や Windows 環境での操作、ファイルのコピー、印刷、移動のような Windows の基本機能の操作のことです。また、基本的な Windows 用語や Microsoft Internet Explorer の操作の知識も必要です。Windows や Internet Explorer については、Microsoft Windows の操作説明書をご覧ください。

ユーザーガイドの構成

このユーザーガイドは次のような構成になっています。

第1章 概要

この章では、ネットワークスキャナーツールの概要を説明します。また、本書の構成や用語の定義、必要なシステム環境、サポートされているネットワークスキャナーの機種、ネットワークスキャナーツールの設定やディレクトリの構成も説明しています。

第2章 ネットワークの準備

ネットワーク管理者を対象としています。ネットワークスキャナーツールをインストールする前にネットワークを構成するために必要なステップを説明しています。

第3章 ネットワークスキャナーツールをインストールする

この章では、ネットワークスキャナーツールのインストールと設定の方法を説明します。

第4章 ネットワークスキャナーツールを使う

この章では、ネットワークスキャナーツールへのアクセス、設定、使用方法について説明します。

用語の定義

ネットワークスキャナーツールをご使用になる際は、以下の用語とその定義を覚えておいてください。

用語	定義
ネットワークスキャナーツール	ネットワークでつないだ SHARP 製複合機から PC に FTP プロトコルを使った画像の取り込みを行うためのソフトウェア。
FTP プロトコル	ファイルをインターネット経由で転送する際の一般的なプロトコル。
プロファイル	ネットワークスキャナーツールの用語。ネットワークスキャナー拡張キット搭載の SHARP 製複合機から受け取った画像に対して、お使いの PC 上で自動的に実行されるコマンド一列を指します。
FTP ポート	接続を監視するために FTP サーバーによって使用される TCP/IP ポート。このポートは、通常設定からカスタム値に変更することができ、それにより、同じ PC 上で 2 つ以上の FTP サーバーが動作している場合の競合を回避することができます。

注意：本書では、「SHARP 製複合機」を、以下「スキャナー」と表記します。

必要なシステム環境

ネットワークスキャナーツールを正しくインストールしてお使いいただくためには、下記のシステム環境を満たしていることが必要です。

オペレーティングシステム要件:	Windows Vista	Windows 7	Windows 8.1	Windows 10
CPU:	1GHz 32 ビット/64 ビット			
メモリ:	1 GB RAM/2 GB RAM (Windows 7/8/10 64 ビット)			
ハードディスク空き容量:	670 MB			
グラフィックス能力:	Direct X 9 をサポートした 128 MB 以上の Video RAM			
Internet Explorer:	V7.0 以降	V8.0 以降	V 10.0 以降	V 11.0 以降
ネットワーク機器:	10Base、100Base または 1000Base イーサネットカード			
ネットワークソフトウェア:	TCP/IP プロトコルがインストール済みであること			

ネットワークスキャナーツールの設定

インストール完了後、デフォルトプロファイルを設定したい場合、[スタート] → [すべてのプログラム]「Windows 10：[すべてのアプリ]」→ [Sharpdesk] → [ネットワークスキャナーツールの設定] を選び※、ネットワークスキャナーツールの設定を実行してください。ネットワークスキャナーツールセットアップウィザードは、自動的にネットワークをスキャンし、スキャナーを検知します。セットアップユーティリティでは、デフォルトのファイルの保存場所と画像処理コマンドを設定できます。また、それらを修正したり拡張したりできます。一度設定すると、お使いのスキャナーの Web ページ上の [デスクトップの宛先プロファイル] に設定情報を書き込みます。

※ Windows 8.1 の場合は、[スタート] 画面から [ネットワークスキャナーツールの設定] を選びます。

設定	内容
プロファイル名	スキャナーの操作パネルに表示される名称で、宛先プロファイル内の他の設定を参照します。通常はドキュメントを読み込む前にプロファイルを名称により選択します。
IP アドレスまたはデスクトップのホスト名	IP アドレスまたはデスクトップのホスト名は、ネットワークスキャナーツールを操作している PC を識別するのに使用します。
デスクトップのポート番号	この番号は、ネットワークスキャナーツールをお使いの PC に接続するのに使用します。初期設定は 4687 です。Web ページでこのポート番号を変更する場合、スキャナーから取り込んだ画像を受け取る PC におけるネットワークスキャナーツールの構成においても、変更が生じることを必ず確認してください。
後処理ディレクトリ	[後処理ディレクトリ] の設定は、選択するプロセス定義を示しています。プロセス定義は、ネットワークスキャナーツールで定義されています。たとえば、[Send Email] を選択している場合、ネットワークスキャナーツールからスキャンされたイメージを受けると [Send Email] のプロセスが実行されます。詳細は、プロファイルタブの章をご覧ください。

第2章 ネットワークの準備

はじめに

ネットワークスキャナーツールを問題なくお使いいただくために、インストールする前にネットワーク管理者はネットワークを準備する必要があります。ネットワーク管理者がこの章に示す手順に従っていただくことで、ユーザーは自動設定機能を使用して PC にインストールしたネットワークスキャナーツールを設定することができます。

手順 1 : Network Policy を決定する

まず、グループ内で DHCP を使用するかどうかを決定します。DHCP を使用する場合、IP アドレスを動的に割り当てます。DHCP を使用するとき、ホスト名はお使いの PC かスキャナーを指定するための識別名となります。スキャナーは、ホスト名から PC の IP アドレスを知るために DNS サーバーを必要とします。

グループのネットワーク構成を決定するために次の表をご覧ください。

ポリシー	DHCP	ネットワークスキャナーへの IP アドレス割り当て	PC への IP アドレス割り当て
1) シンプルアドレッシング	使用/不使用	固定	固定
2) レギュラーDHCP	使用	固定	自動取得
3) フル DHCP	使用	自動取得	自動取得
4) 例外的 DHCP	使用	自動取得	固定

注意：「フル DHCP」や「例外的 DHCP」ポリシーに設定されることをお勧めしません。ネットワーク構成において、スキャナーのネットワークインターフェイスカード (NIC) の慎重な設定を含む専門的な知識を必要とします。これらのポリシーをご使用の際には、スキャナーのアドレス自動割り当てを設定するネットワークインターフェイスカード (NIC) の取扱説明書をご覧ください。

手順 2 : DHCP と DNS サーバーを設定する

レギュラー、フルまたは例外的 DHCP ポリシーをご使用の際には、ネットワークスキャナーツールをインストールする前に DHCP と DNS サーバーを設定する必要があります。DHCP サーバーは、PC [上記の 2), 3)] とスキャナー [上記の 3), 4)] の IP アドレスを自動設定します。

シンプルアドレッシングポリシーをご使用の際には、DHCP と DNS サーバーは必要とされませんので、この手順をとばすことができます。

手順 3 : スキャナーのネットワーク設定を行う

DHCP を使って PC のアドレスを自動割り当てする [上記の 2), 3)] 場合、DNS サーバーのアドレスをスキャナーの Web ページで設定する必要があります。

PC のアドレスが固定である [上記の 1) , 4)] 場合、スキャナーの Web ページ上の DNS サーバーのアドレスを空白にしておくようにお勧めします。スキャナーの Web ページ上に誤った DNS サーバーのアドレスを指定した場合、問題が起こる可能性があります。よって、DNS サーバーのアドレスを空白にしておく方法は、ネットワークスキャナーツールが、スキャナーの検知中に自動で適切なアドレスを設定するため、望ましい設定方法です。

手順 4 : ネットワーク環境をユーザーに説明する

ネットワークに接続されている PC の使用者は、次の表で示す有効なポリシー、サポート情報を知る必要があります。

ポリシー	付加情報
1) シンプルアドレッシング	スキャナーの IP アドレス
2) レギュラーDHCP	スキャナーの IP アドレス
3) フル DHCP	スキャナーのホスト名
4) 例外的 DHCP	スキャナーのホスト名

トラブルシューティング

- ネットワーク管理者は、スキャナーと関係があるネットワーク設定を変更する際には、ネットワーク構成を理解し、注意を払う必要があります。ネットワークポリシーやサーバー設定の変更後に問題が生じたときには、スキャナーやネットワークスキャナーツールを実行している PC をすべて最初から再構築しなおすことをお勧めします。
- ネットワークスキャナーツールが自動的に適切なネットワーク変数を決定しようとする際には、高度なネットワーク構成についての知識を必要とすることがあります。特に、自動検知機能でお使いになりたいスキャナーを検知できなかった際には、アドレスを手動で入力しなければなりません。ネットワーク装置がコンピューターとスキャナーの間で UDP ブロードキャストパケットをフィルターする場合に、この現象が起こることがあります。スキャナーの IP アドレスを手動で設定したい場合は、第 4 章に記載の「新しいネットワークスキャナーを登録する」をご覧ください。

注意：自動検知では、ネットワークのローカルサブネットを越えて検索できません。ローカルサブネットの外にあるスキャナーは IP アドレスを手動で入力する必要があります。

- ブロードキャストでない UDP パケットが、PC とスキャナーの間でフィルタリングする場合、ネットワークスキャナーツールの設定は失敗します。TCP/IP と UDP/IP は、デスクトップへの取り込み機能を使用するために必要になります。
- スキャナーは、ネットワークスキャンを行うために PC と通信する必要があります。Windows ファイアウォールの設定が「有効(推奨)」である場合は、プロファイルを登録する際に次のようなダイアログが表示されます。



このようなダイアログが表示された場合は「ブロックを解除する」ボタンをクリックして下さい。

テクニカル情報

ネットワークスキャナーツールは、自動設定処理の際にスキャナーと PC に割り当てられるアドレスを、次の方法で決定します。

1. スキャナーのアドレスが DNS テーブルにある場合、ホスト名がスキャナーの設定に使用されます。
2. スキャナーの Web ページ上にある DNS サーバーのアドレスが空白でなく、PC のアドレスが DNS テーブルにある場合、ホスト名が PC の設定に使用されます。

第3章 ネットワーク スキャナーツールを インストールする

はじめに

Sharpdesk のインストール時に、2つの方法を利用してネットワークスキャナーツールソフトウェアをインストールできます。一般的なオプションをインストールする [標準] 設定と、インストールしたいオプションを自分で選択する [カスタム] 設定とがあります。Sharpdesk をインストールする際、[標準のインストール] を選択すれば、Sharpdesk は自動的にネットワークスキャナーツールをインストールします。

ネットワークスキャナーツールは、ネットワーク上にあるすべてのノードの格納および設定を行ってから、Sharpdesk ホストを設定することで、ネットワーク上のスキャナーから、お使いの PC に送られた画像を格納することができるようになります。

Sharpdesk をインストールすることにより、お使いの PC のデスクトップの [スタート] メニューの [プログラム] の中に [ネットワークスキャナーツール] と [ネットワークスキャナーツールの設定] が設定されます※。インストール完了後、初めてネットワークスキャナーツールを起動する時は、[ネットワークスキャナーツール設定] ウィザードに従って、ネットワークスキャナーツールの設定を行ってください。

ネットワークスキャンが可能なスキャナーから画像を受信するために使用する全ての PC に対して、ネットワークスキャナーツールをインストールする必要があります。

※ Windows 8.1 の場合は、[スタート] 画面に [ネットワークスキャナーツール] や [ネットワークスキャナーツールの設定] が設定されます。

ネットワークスキャナーツールのインストール

ネットワークスキャナーツールをインストールするには、次の手順に従ってください。

1. サポートされているスキャナーがネットワークに接続されていることを確認してください。ネットワークへのスキャナーの接続方法は、ネットワークスキャナー拡張キットの取扱説明書をご覧ください。
2. Windows アプリケーションのいずれかが開いている場合は、インストールを正常に行うためにすべて終了させてください。
3. インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。すぐに画面上に「Sharpdesk InstallShield ウィザードへようこそ」画面が自動的に表示されます。（Windows の自動実行機能が使用禁止になっている場合などは、表示されません。）「Sharpdesk InstallShield ウィザードへようこそ」画面が表示されない場合は、CD の \Sharpdesk ディレクトリにある「setup.exe」を実行します。

SHARP ホームページから Sharpdesk をダウンロードした場合は、ダウンロードした Sharpdesk の「setup.exe」を実行してください。



「Sharpdesk InstallShield ウィザードへようこそ」画面

4. 「次へ」ボタンをクリックし、画面上の指示に従ってインストールを完了させます。

インストールの最後に以下のダイアログを表示します。



〔完了〕 ボタンをクリックするとインストールは完了します。インストール完了時点で、ネットワークスキャナーツールセットアップウィザードを実行したい場合、〔スタート〕 → 〔すべてのプログラム〕 「Windows 10 : 〔すべてのアプリ〕」 →

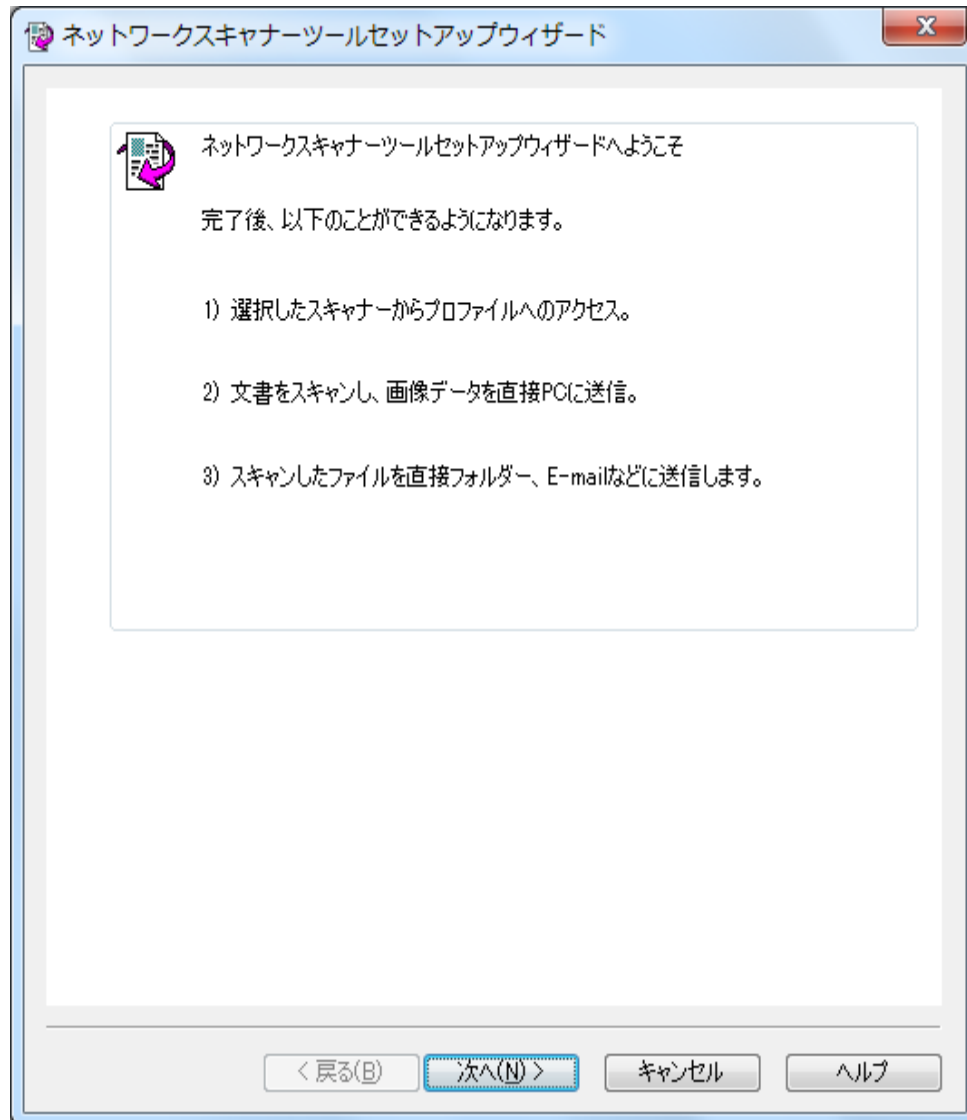
〔Sharpdesk〕 → 〔ネットワークスキャナーツール〕 を選択すると※、ウィザードが開始されます。本ウィザードはスキャナーと通信します。ウィザードを開始する前に、ネットワーク環境とスキャナーの設定が完了していることとデバイスの電源が入っていることをご確認ください。

本ウィザードをとばした場合、ネットワークスキャナーツールを利用できません。ウィザードは一度起動すると、再度起動しません。ウィザードをすでに起動した場合、ネットワークスキャナーツールを使って、設定を変更してください。

※ Windows 8.1 の場合は、〔スタート〕 画面の〔ネットワークスキャナーツール〕 を選択します。

ネットワークスキャナーツールセットアップウィザード

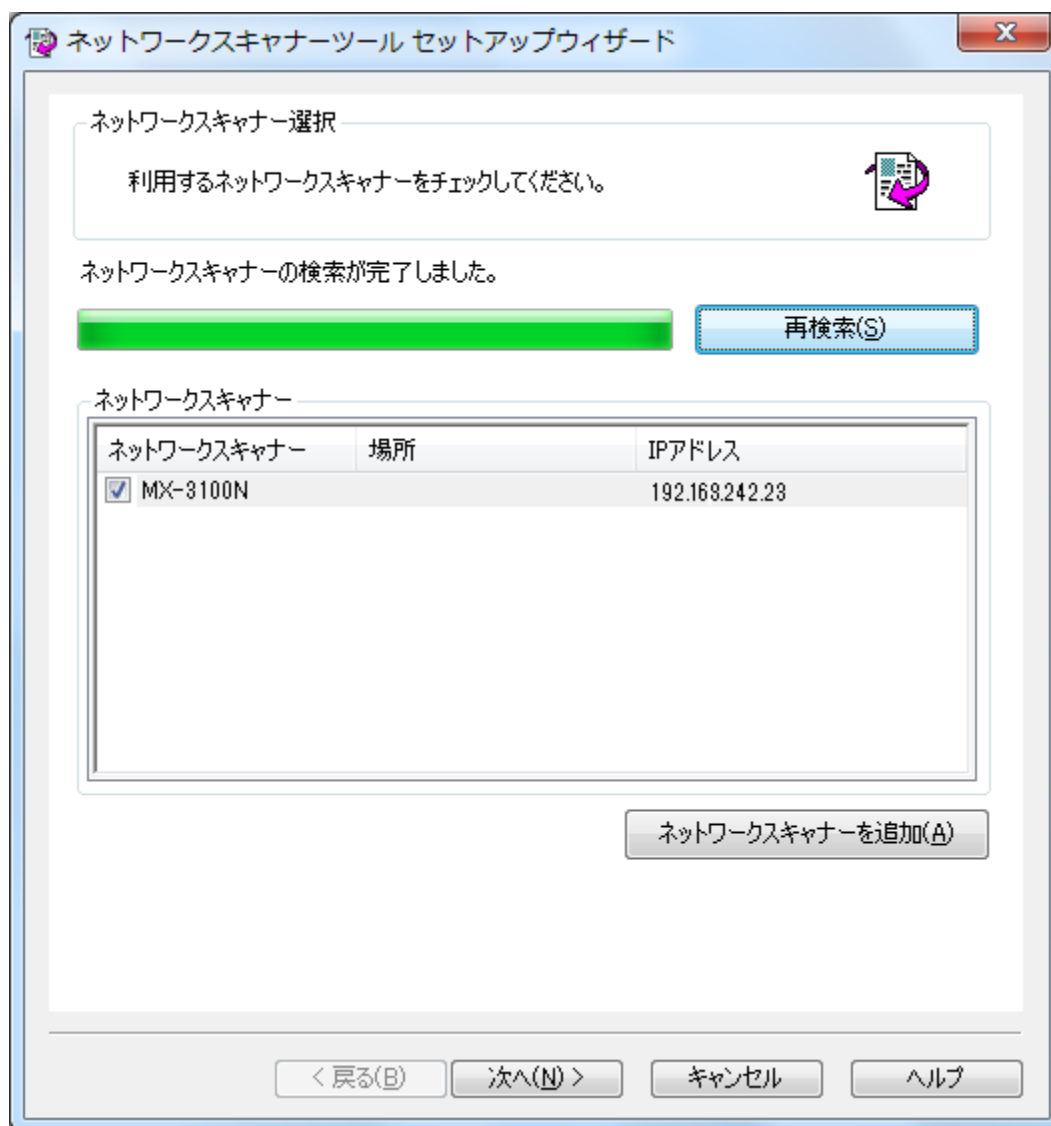
ウィザードを起動すると、[ネットワークスキャナーツールセットアップウィザードへようこそ] 画面が表示されます。本ウィザードは1回だけしか起動しないので、画面上の指示にしっかり従うようにしてください。



[ネットワークスキャナーツールセットアップウィザードへようこそ] 画面

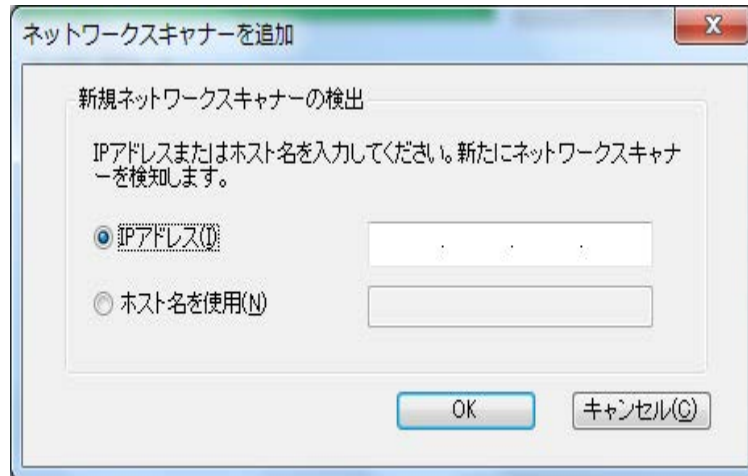
1. [次へ] ボタンをクリックします。

ウィザードはお使いのスキャナーを検索し、利用可能なスキャナーを表示します。検索を再度行いたい場合は、[再検索] ボタンを再度クリックしてください。



「ネットワークスキャナー選択」画面

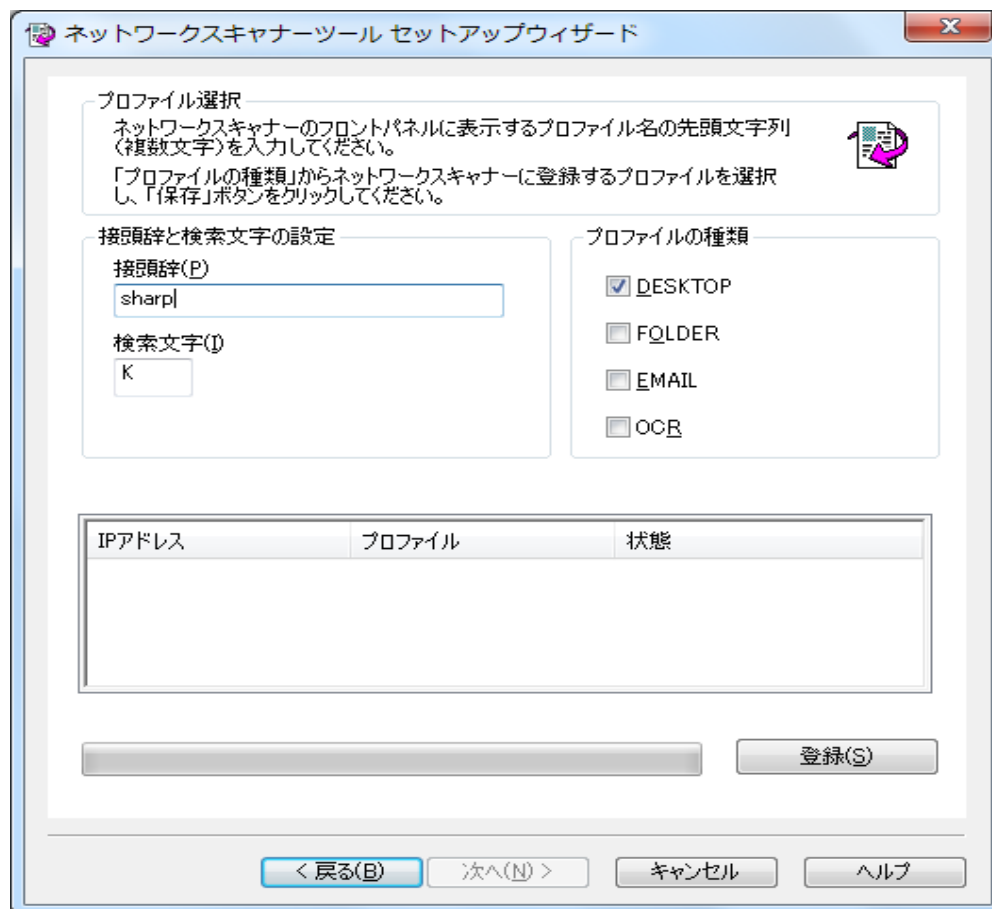
2. 「ネットワークスキャナー」リストからご利用になりたいスキャナーを選択してください。利用しないスキャナーはチェックを外してください。
3. お使いになりたいスキャナーが利用可能な「ネットワークスキャナー」リストに表示されていない場合は、「ネットワークスキャナーを追加」ボタンをダブルクリックすることで追加することができます。



「ネットワークスキャナーを追加」ダイアログ

4. スキャナーの IP アドレスまたはホスト名を入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。
5. スキャナーを選択し、適用可能なオプションを設定したら、[次へ] ボタンをクリックしてください。

プロフィール選択画面が表示されます。



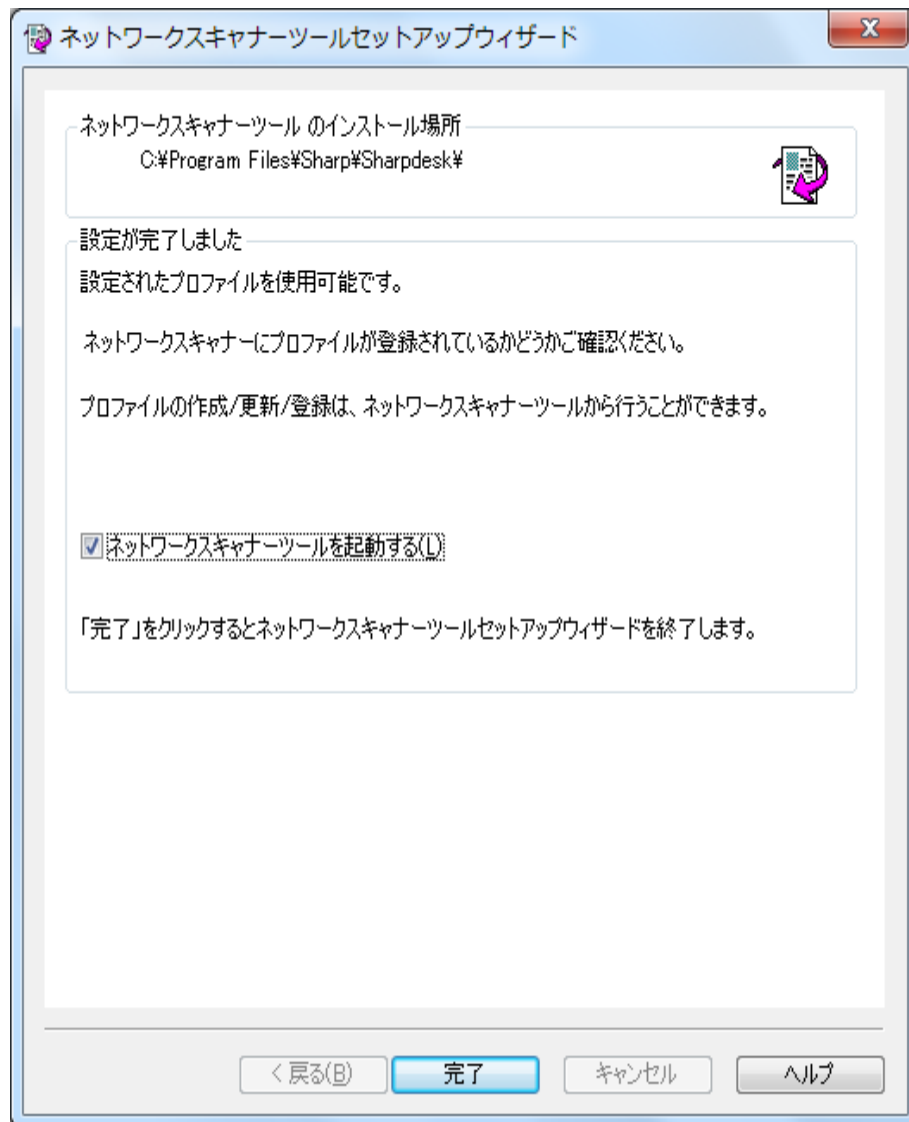
「プロフィール選択」画面

-
6. (a) [接頭辞] 欄に 20 文字までの名前を入力してください。（本名称はプロファイルを特定するのに使用します）
 - (b) [検索文字] 欄に 1 つの文字を入力してください。
 - (c) [プロファイルの種類] にあるプロファイルにチェックを入れて、ネットワークスキャナーツールを処理するとき、適用したいプロファイルを選択してください。

プロファイルの種類には以下のものが含まれます：

- **DESKTOP**：Sharpdesk Desktop フォルダーに文書をスキャンします。
- **FOLDER**：お使いのフォルダーに文書をスキャンします。お使いのプロファイルリストに追加したとき、フォルダーダイアログの参照が表示されます。スキャンした文書を保存したいフォルダーを選択し [OK] ボタンをクリックしてください。
- **EMAIL**：お使いの電子メールアプリケーションを開き、スキャンした文書を電子メールの添付資料として添付します。
- **OCR**：スキャンした文書を編集可能なテキストに自動変換して、Sharpdesk Desktop フォルダーに保存します。

- (d) 選択後、[登録] ボタンをクリックしてください。
7. 利用可能なプロファイルリストにあるプロファイルを反転表示し、[追加] ボタンをクリックすることでネットワークスキャナーツールを処理するとき、適用したいプロファイルを選択してください。プロファイルをプロファイルリストから削除するには、削除したいプロファイルを反転表示し、[削除] ボタンをクリックしてください。
8. 選択後、[次へ] ボタンをクリックしてください。
[プロファイルをネットワークスキャナーへ登録する準備ができました] 画面が表示されます。
9. [登録] ボタンをクリックしてください。
10. プロファイルの登録が終了後、[次へ] ボタンをクリックしてください。
[設定が完了しました] 画面が表示されます。



11. 「ネットワークスキャナーツールを起動する」にチェックを入れておくと、ウィザード完了後、ネットワークスキャナーツールが起動します。起動後、自動または手動でスキャナーを追加やプロファイルの追加または更新を行うことができます。
12. 「完了」ボタンをクリックしてください。

ネットワークスキャナーツールセットアップウィザードが完了し、ネットワークスキャンが使用できるようになります。

第4章 ネットワーク スキャナーツールを使う

はじめに

ネットワークスキャナーツールは、ネットワーク上でのデータ取り込み処理の設定を行うためのアプリケーションです。設定には、次の設定タブを使用します。

1. プロファイル
2. スキャナー
3. システムオプション

ネットワーク上のスキャナーで取り込んだ画像データを、お使いの PC が受け取る際の処理方法を、各タブ上で設定することができます。設定タブを開くには、Sharpdesk のメニューバーより、[ツール] → [シャープ製品の設定] → [ネットワークスキャナーツールの設定] を選ぶ方法と、Windows の [スタート] メニュー → [すべてのプログラム] → [Sharpdesk] → [ネットワークスキャナーツール] を選ぶ方法※と、Windows システムトレイの、ネットワークスキャナーツールアイコンからアクセスする方法があります。

※ Windows 8.1 の場合は、[スタート] 画面の [ネットワークスキャナーツール] を選びます。

ネットワークスキャナーツールメニューにアクセスする（システムトレイアイコン）

Windows システムトレイにあるアイコンをクリックすると、ネットワークスキャナーツールメニューにアクセスすることができます。ネットワークスキャナーツールの現在の状態を知りたい時は、マウスをアイコンに重ねれば起動中、停止中などの情報を得ることができます。システムトレイに表示されたアイコンから、ネットワークスキャナーツールの現在の状態を知ることもできます。



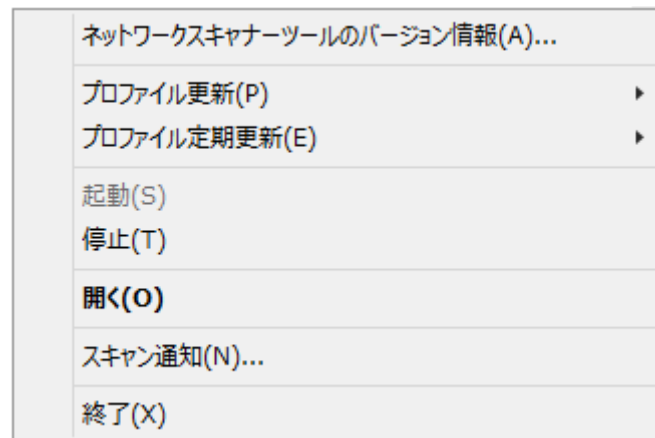
起動中



停止中

ネットワークスキャンツールアイコンはインストール中に Windows システムトレイに置かれ、お使いの PC を再起動するたびに自動的にスタートします。

「ネットワークスキャナーツール」アイコンを右クリックすると、ネットワークスキャナーツールを制御する次のメニューが表示されます。



「ネットワークスキャナーツール」メニュー

接続した FTP サーバーフォルダーに画像ファイルが送られると、ネットワークスキャナーツールは構成プロファイル設定に基づいて、そのファイル进行处理します。

開く

ネットワークスキャナーツールを開き、表示します。

スキャン通知

スキャン通知ダイアログにより、ネットワークスキャナーツールが起動中にスキャンされたファイルの詳細（名前と受信日時）を確認できます。

「フォルダーを開く」ボタンをクリックすることで、スキャンされたファイルの保存場所を開くことができます。

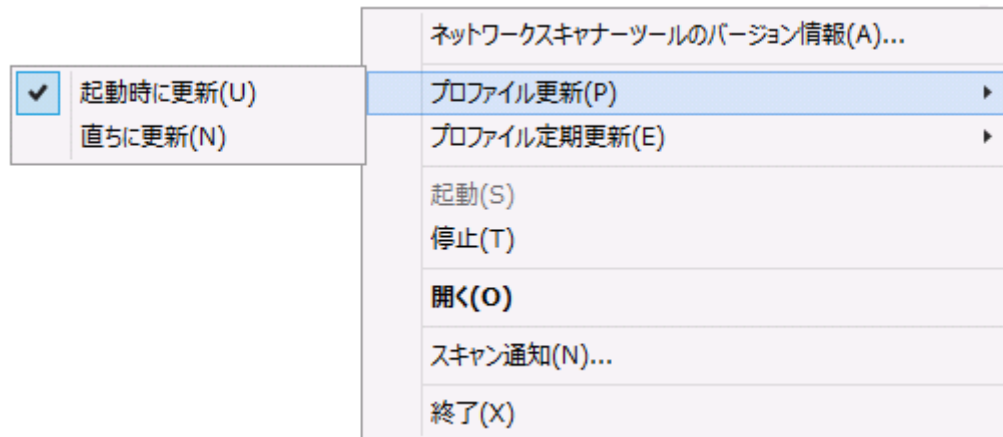
起動／停止／終了

ネットワークスキャナーツールをこれらのコマンドを使用して、開始、停止、終了することができます。

プロファイル更新

お使いの PC の IP アドレスが変更になった場合、現在の IP アドレスとスキャナーに登録されている IP アドレスが一致しくなくなります。この状態でスキャンを行うと IP アドレスが一致しないためデスクトップ送信スキャンに失敗するようになります。

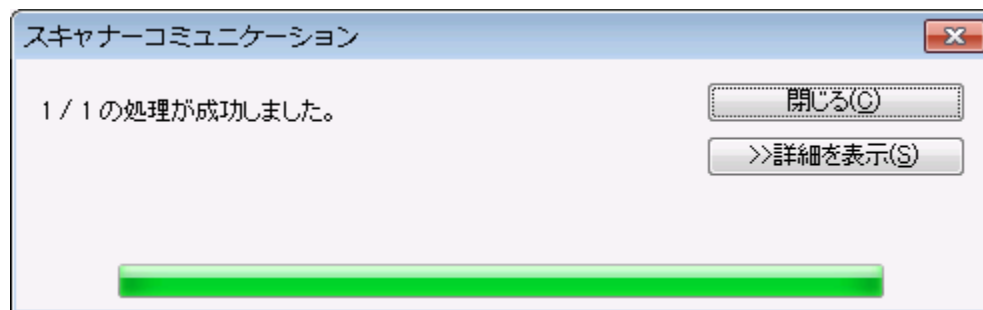
このような場合、プロファイル情報を更新することで PC の IP アドレスとスキャナーに登録されている IP アドレスを同期させる必要があります。



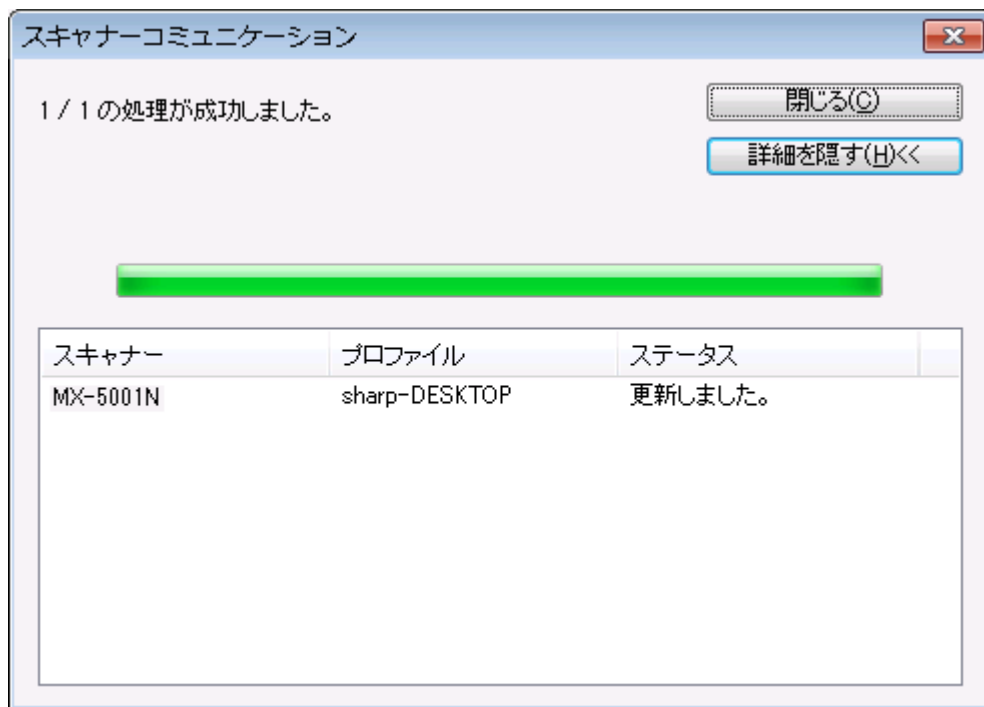
同期を行うには2通りの方法があります：

- 起動時に更新：本メニューにチェックが入っている場合、スキャナーに登録されているプロファイルは、PC 起動時に更新されます。
- 直ちに更新：本メニューを選択すると現在の IP アドレスでプロファイルが更新されます。ただし、ネットワークスキャナーツール起動中は、グレースアウトされます。現在の IP アドレスでプロファイルを更新だけでなく、以前更新に失敗したプロファイルも更新されます。（例：前回プロファイル更新時にスキャナーの電源が切れていたり、スキャナーが使用中だったために更新に失敗したプロファイル）。

プロファイル更新中にスキャナーコミュニケーションダイアログが表示されます：

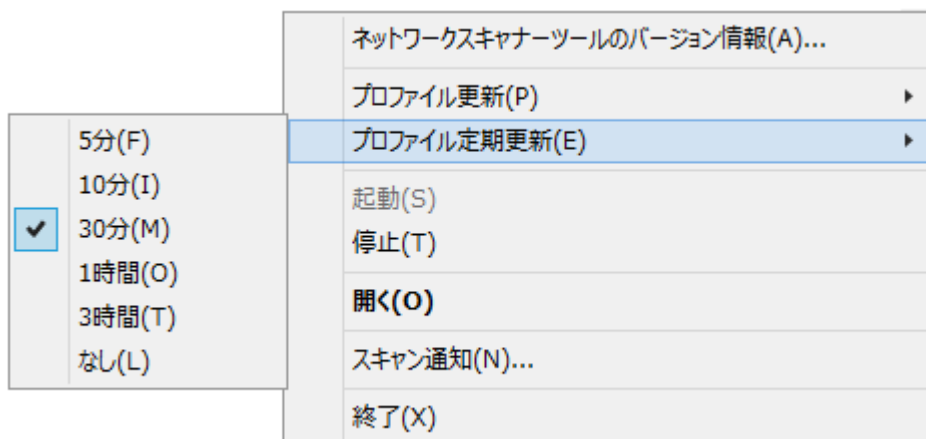


本操作を完了するまで、プロファイル更新処理をキャンセルすることはできません。更新が終われば、[閉じる] ボタンが有効になります。プロファイル更新中の状況を確認するには、[詳細を表示] ボタンを押します。



プロファイル定期更新

プロファイルの定期更新に関する設定を選択できます。



プロファイル定期更新には 6 通りの設定があります：

- 5 分：本メニューを選択すると、更新が完了していないプロファイルを、5 分毎に更新します。
- 10 分：本メニューを選択すると、更新が完了していないプロファイルを、10 分毎に更新します。
- 30 分（既定）：本メニューを選択すると、更新が完了していないプロファイルを、30 分毎に更新します。
- 1 時間：本メニューを選択すると、更新が完了していないプロファイルを、1 時間毎に更新します。

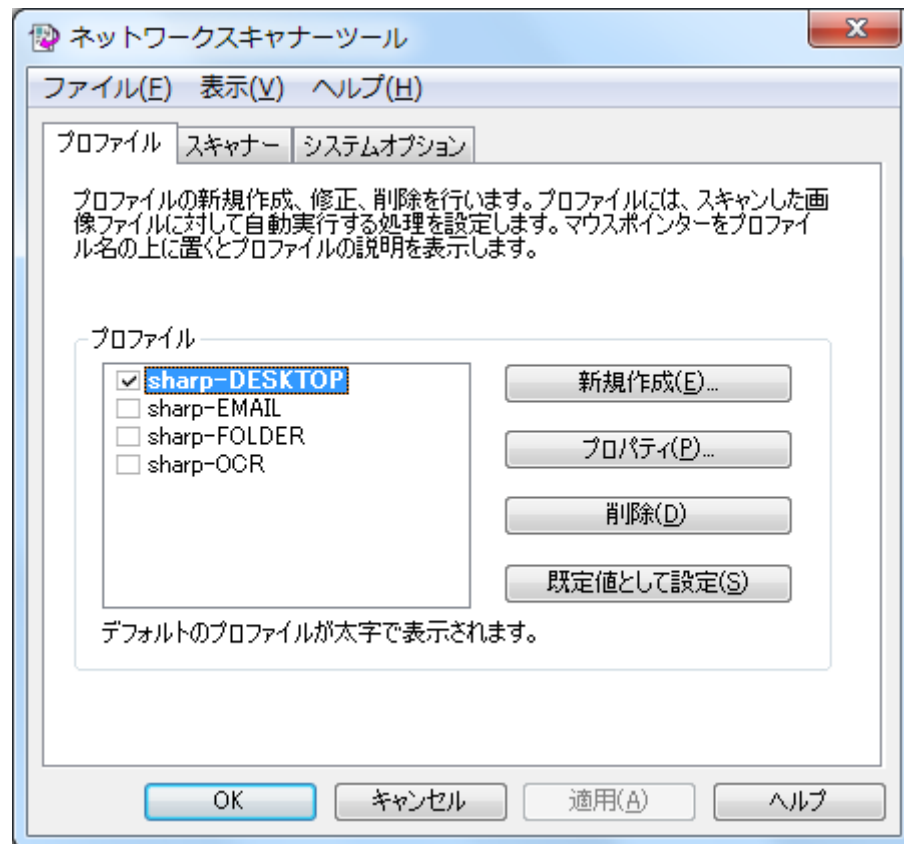
-
- 3時間：本メニューを選択すると、更新が完了していないプロファイルを、3時間毎に更新します。
 - なし：本メニューを選択すると、プロファイル定期更新を無効にします。

ネットワークスキャナーツールのバージョン情報

このオプションを選択すると、[ネットワークスキャナーツールのバージョン情報]画面が表示されます。

ネットワークスキャナーツールの設定を行う

これより後の項では、ユーザーインターフェースの3つの設定タブを使ってネットワークスキャナーツールを設定する方法を説明します。



〔プロファイルタブ〕画面

注意：PC上に他のユーザーによって設定されたプロファイルが既に存在する場合、プロファイルタブにそれらも表示されます。

プロファイルタブ

プロファイルリストでは、ファイルをデスクトップに取り込んだときに自動処理できるステップをリストアップします。

プロファイルタブで次の設定を行います。

- 新しいプロファイルの登録
- プロファイルオプションの確認
- 既存のプロファイルの削除
- プロファイルの標準設定

プロファイルを扱う際は、次のことにご注意ください。

- 電子メールのプロファイルでは、メールアドレスを保存しておくことはできません。電子メールソフト起動後、メールアドレスを入力して送信してください。

- OCR プロファイルの既定値は、Microsoft Word 2007 (*.docx) です。変換ファイルが Sharpdesk Desktop フォルダに保存されます。
- 標準設定では、それぞれのプロファイルは、ログインユーザー名の最初の 20 文字を使って作成されます。スキャナーのデスクトッププロファイル名に表示されるのは、これに「-」とプロセス定義名を加えたものです。次の例をご覧ください。
sharp-DESKTOP
sharp-OCR
sharp-EMAIL
sharp-FOLDER
- 使用できるのは、チェックされているプロファイルのみです。

新しいプロファイルを登録する

「プロファイル」タブの「新規作成」ボタンをクリックすると、新しいプロファイルを登録することができます。「プロファイルのプロパティ」画面が表示されるので、この画面上で、お使いの PC が画像データを受け取った時の処理方法を定義します。

プロファイルのプロパティ

プロファイル名
デスクトッププロファイル-この名前はスキャナーの操作パネルに表示されます。(K): sharp-001

検索文字-操作パネル上のタブグループ(N): K

内容(P):

プロセスオプション

☐ 画像処理(G) 詳細(D)...

☐ OCR(V) 詳細(T)...

☐ OCR 変換中にプログレスバーを表示する(W)

☐ PDFをWEB用に最適化する(E)

アウトプットオプション

☐ 電子メールに添付する(E)

☐ プログラムを起動する(U) 詳細(I)...

☒ ファイルの移動先を設定する(M) 詳細(L)...

☐ ファイル名を設定する(B) 詳細(S)...

OK キャンセル(C) ヘルプ(H)

「プロファイルのプロパティ」画面

適切な属性を設定すると、各プロファイルを実行する際、次のうちのいくつかの処理が実行されます。

- 画像処理と OCR が選択された場合、画像処理の実行後に OCR が実行されます。

-
- OCR が選択された場合、プロファイルのアウトプットオプションはオリジナル画像ではなく、OCR 処理によって生成されるテキストドキュメントを参照します。
 - プロファイルにチェックを入れた後、[適用] ボタンをクリックするとスキャナータブでチェックをしているスキャナーにプロファイルが登録されます。プロファイルのチェックを外した後、[適用] ボタンをクリックするとスキャナーからプロファイルが削除されます。

プロファイルのプロパティ名前—

[プロファイルのプロパティ] 画面では、次の設定を行うことができます。

デスクトッププロファイル

ここで設定する名前は、スキャナーの操作パネルに表示されます。スキャナーから画像データを送る時に、送信先の PC とプロファイル名を見分けるのに使用されます。なお、プロファイル名に下記の文字は利用できません。

<	>	&	“	\
‘	?	;	,	/
*		#	!	:

検索文字

スキャナー側での操作パネル上の宛先表において、プロファイルが分類されるグループ名にこの検索文字は使用されます。

内容

本欄にプロファイル内容を入力することができます。これはプロファイルリストのプロファイルにマウスカーソルを移動すると、「ツールチップ」として表示されます。

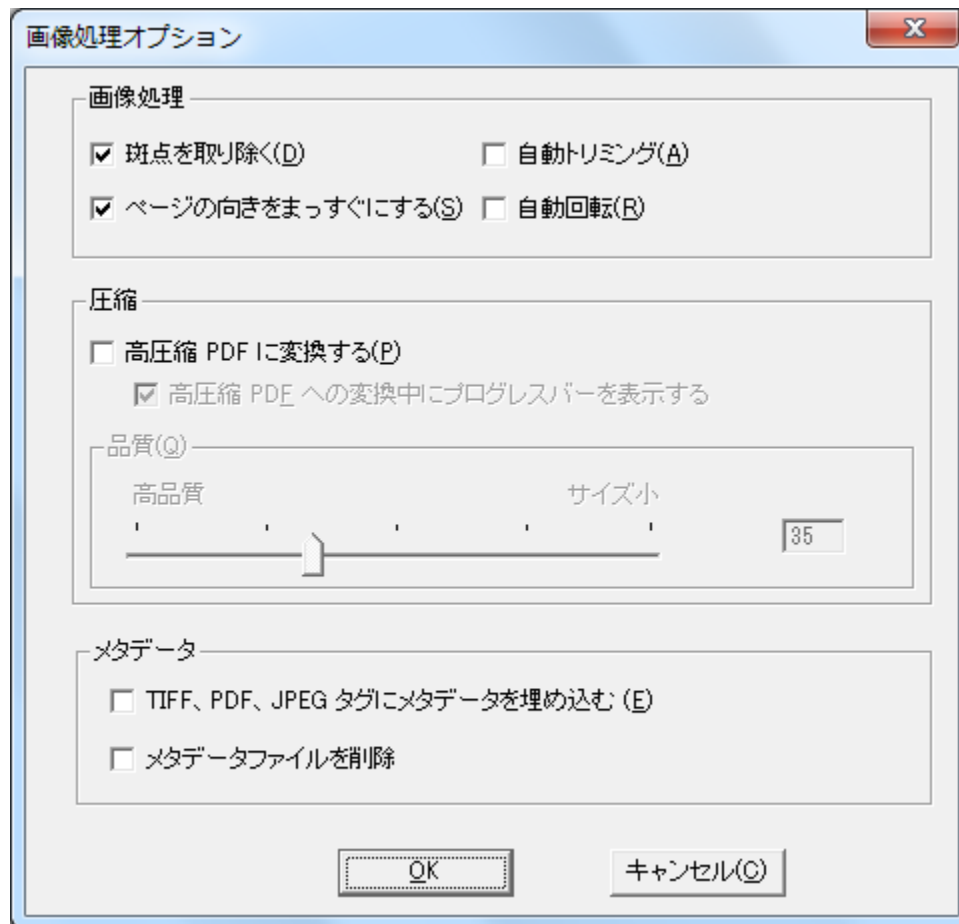
プロファイルのプロパティ—画像処理—

[画像処理] ボックスをチェックし、[詳細] ボタンをクリックすると、次のような [画像処理のオプション] 画面が表示されます。この画面上から次の操作を行うことができます。

画像処理

画像処理セクションでスキャン画像に適用する画像処理を選択することができます。

- **斑点を取り除く**—画像から小さな斑点を取り除きます。
- **ページの向きをまっすぐにする**—自動的にページの向きをまっすぐにします。
- **自動トリミング**—境界線を検知し画像をトリミングします。
- **自動回転**—スキャンしたページ上のテキストの向きを検知し自動的にページを回転します。



〔画像処理のオプション〕画面

圧縮

圧縮セクションでスキャン画像に適用する圧縮率を設定することができます。

- スキャン画像を圧縮し、イメージ PDF ファイルを生成するには、〔高圧縮 PDF に変換する〕をチェックしてください。チェックをすると、品質スライダーで圧縮率を設定できるようになります。

注意：画像を圧縮すると、圧縮率に応じた画像情報が失われるため画像が劣化します。圧縮画像が消費するハードディスク容量はスライダーで圧縮率を変化させることで調整できます。

- 圧縮スライダーが左にあればあるほど画像劣化が少なくなります。（ただし、消費するハードディスク容量は多くなります。）
- 圧縮スライダーが右にあればあるほど画像劣化が目立つようになります。（ただし、消費するハードディスク容量は少なくなります。）

スライダーの横にあるボックスに、1 から 100 までの数値を入力することもできます。1 は JPEG2000 可逆圧縮方法が適用される例外的なケースです。一般的に、この設定は高品質となりますが、圧縮オプション無しでスキャナーが生成するファイルに比べて、大きいサイズのファイルを生成します。2 から 100 の設定は、JPEG2000 圧縮でカラーイメージを生成します。設定値が大きくなるに従って、より高圧縮でより小さい

サイズのファイルが生成されますが、少しずつ不鮮明なイメージになります。詳しくは、Sharpdesk ユーザーガイドの「画像を圧縮する」を参照ください。

メタデータ

メタデータセクションでスキャナーが作成したメタデータファイルの処理を設定することができます。スキャナーがメタデータファイルの生成をサポートしているかどうかは、お使いのスキャナーのマニュアルをご確認ください。メタデータファイルとスキャン画像ファイルは、それぞれ別のファイルとして移動先フォルダーに保存されます。

- スキャンした TIFF、PDF または JPEG ファイルにメタデータ情報を挿入する場合、[TIFF、PDF、JPEG タグにメタデータを埋め込む] ボックスをチェックしてください。ネットワークスキャナーツールはスキャン画像のメタデータファイルを読み込み、その内容を TIFF、PDF または JPEG スキャン画像のキーワード「タグ」欄に挿入します。1 回のスキャン操作で、複数の TIFF、PDF または JPEG ファイルが作成される場合、そのスキャンに関連するメタデータが全てのファイルに埋め込まれます。これはスキャン時に [ページ毎にファイル化] をチェックし、スキャンした場合に相当します。
- メタデータファイルを TIFF、PDF または JPEG ファイルに挿入後、削除する場合、[メタデータファイルを削除] にチェックを入れます。メタデータファイルが必要な場合は、チェックを外しておきます。

[画像処理のオプション] 画面でいずれかのオプションを選択した後に [OK] ボタンをクリックしてください。

プロファイルのプロパティ - OCR -

OCR（光学式文字認識）を利用して画像ファイルをテキストファイルに変換します。これらのオプションは Sharpdesk の OCR と同じで、[詳細] ボタンをクリックすることで利用できます。

注意：OCR が選択された場合のみ、[詳細] ボタンが有効になります。

本メニューの詳細は、Sharpdesk ユーザーガイドをご覧ください。

PDF を WEB 用に最適化する

スキャンされた PDF ファイルを WEB 用に最適な線形化 PDF ファイルに変換します。線形化 PDF ファイルに変換するとファイルを全てダウンロードしなくても任意のページを表示できます。WEB での表示・閲覧に適しています。

アウトプットオプション

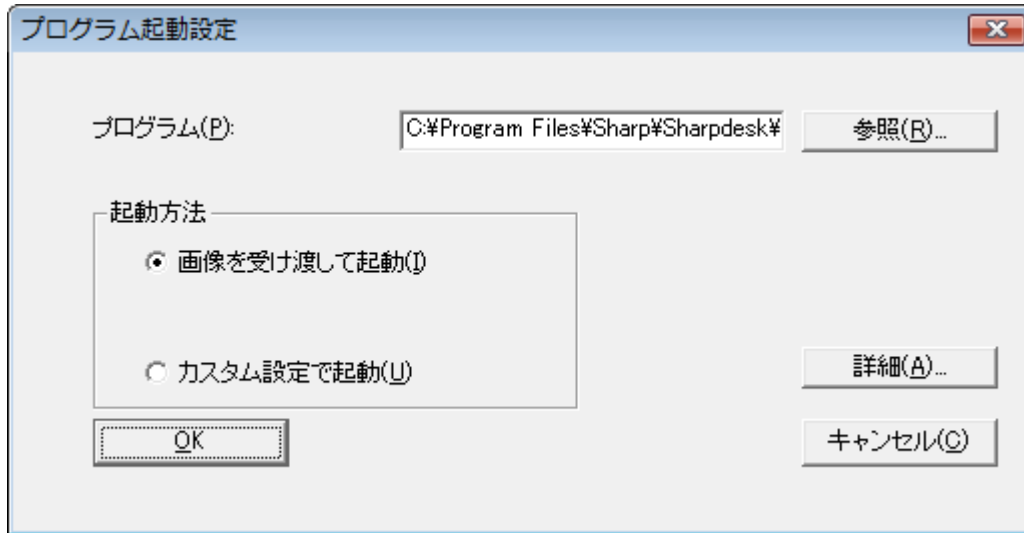
4 つのオプション（電子メールに添付する、プログラムを起動する、ファイルの移動先を設定する、ファイル名を設定する）が利用できます。

• 電子メールに添付する

[電子メールに添付する] を選択すると、画像を添付書類としてお使いの PC の MAPI 準拠のメールソフトが起動します。お使いのメールソフトでカバーメッセージを作成し、送信先のアドレスを入力できます。

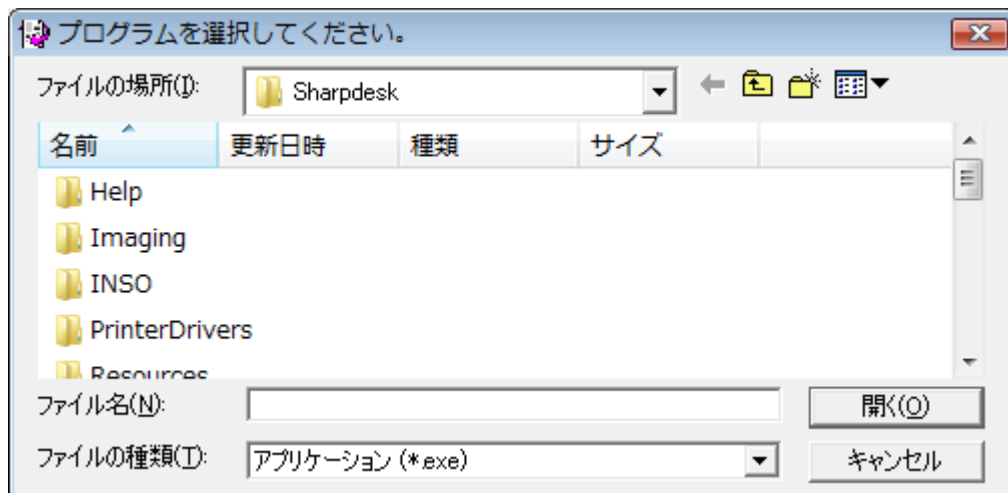
プログラムを起動する [プログラムを起動する] を選択する場合は、ファイルを開くことのできるアプリケーションを選択することができます。たとえば、[画像] が選択されていて、[TIFF 形式] が画像取り込み情報として設定されている場合は、TIFF ファイルを開くことのできるアプリケーションを選択できます。ま

た、[テキストドキュメント] が選択されていて、OCR の [ファイルの保存] のファイルタイプとして [RTF] が設定されている場合は、テキストファイルを開くことのできるアプリケーションを選択できます。起動するプログラムを選択するために、[詳細] ボタンをクリックすると、プログラム起動設定画面が表示されます。



[プログラム起動設定] 画面

お使いの PC に Sharpdesk をインストールすると、自動的にデフォルトプログラムファイルとしてそれを選択します。[参照] ボタンをクリックすることで、別のプログラムを選択でき、標準 Windows オープンダイアログが表示されます。次のような画面が表示されます。ご使用になりたいアプリケーションを探索し、アプリケーションをダブルクリックもしくは、アプリケーションを選択して [開く] ボタンをクリックしてください。



[プログラムを選択してください] 画面

選択したアプリケーション-画像、テキスト文書、またはカスタムで開くファイルタイプを選択してください。

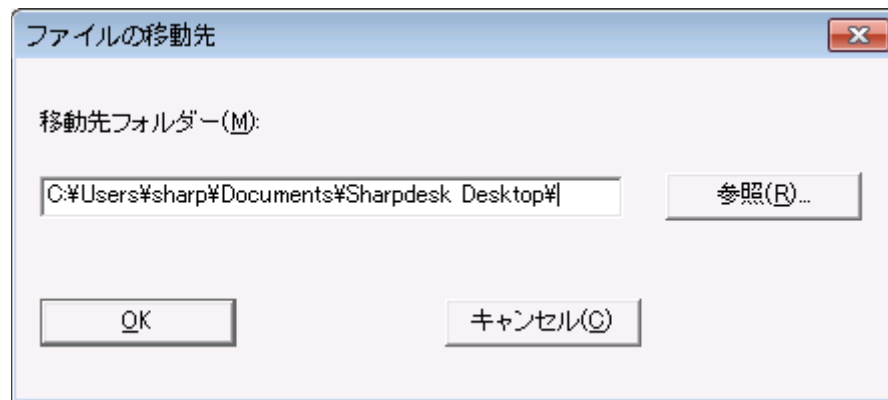
注意：オプションの中には、プロファイルプロパティ選択に基づいて、利用できないものもあります。たとえば、「OCR」を選択していない場合、テキストドキュメントは利用できません。

カスタムオプションを選択したら、詳細をクリックし、アプリケーションの起動に必要なコマンドラインパラメーターを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

アプリケーションオプションを起動画面で選択した後、[OK] ボタンをクリックしてください。

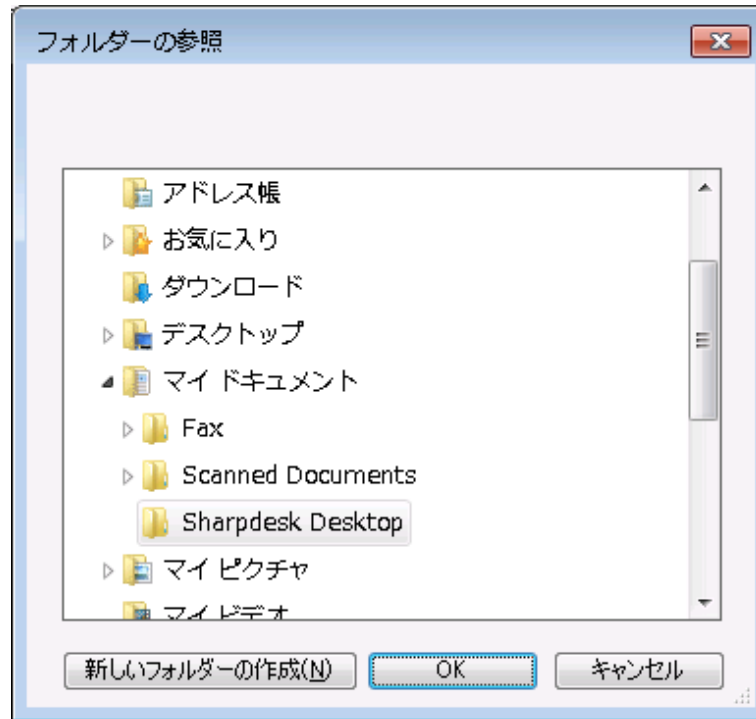
- **ファイルの移動先を設定する**

このオプションは、取り込んだ画像の移動先を選択するのに使用します。[詳細] ボタンをクリックすると、移動先フォルダーが表示されます。



[ファイルの移動先] 画面

[参照] ボタンをクリックすると、フォルダーの参照画面が表示され、対象フォルダーを選択することができます。



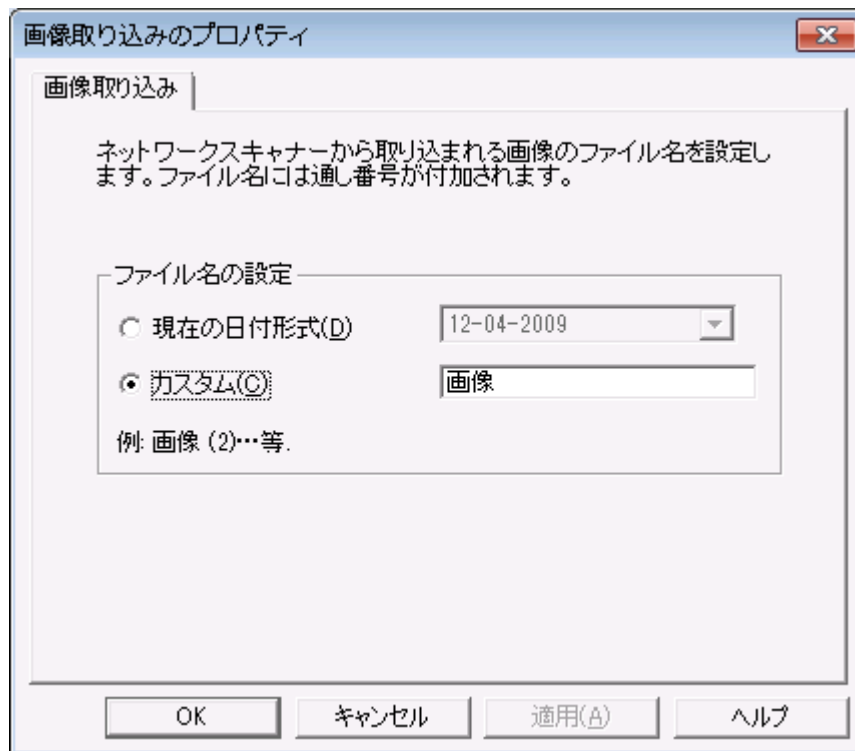
〔フォルダーの参照〕 画面

お使いのフォルダーを選択したら、〔OK〕 ボタンをクリックしてください。

注意(重要)： ネットワークスキャナー拡張キットをサポートするスキャナーは、スキャンしたイメージをネットワークスキャナーツールに送るとき、独自の識別子を必要としています。これらのオプションはスキャナーで電子メール・ネットワークスキャン設定 Web ページによって設定されます。これが行われないと、同じ名前で届いたスキャンはすべて、以前届いたものの上に上書きされます。Web ページは以下に記述されているスキャナーのタブ上で〔Web 設定〕 ボタンを使用してアクセスできます。Web ページとそのさまざまなオプションはネットワークスキャナー拡張キットの取扱説明書をご覧ください。

- **ファイル名を設定する**

本オプションでスキャナーから受信したファイルの名前を変更することができます。〔詳細〕 ボタンをクリックすると、プロパティの取得画面が表示されます。



「画像取り込みのプロパティ」画面

ドロップダウンリストから選択できる「現在の日付形式」、または通し番号が付加される「カスタム」（例：画像(2)）を使用することができます。ファイル名の設定を選択した後は、「[OK]」ボタンをクリックしてください。

「[ファイル名を設定する]」を選択しスキャンした場合、スキャン画像ファイル名とメタデータファイル名の最後に付加される通し番号は一致しないことがあります。通し番号はファイル毎に移動先フォルダーにある既存ファイル名を調べた後、重ならなくなるまで増加することで決まるためです。例えば、移動先フォルダーに画像(1).tif、画像.xml が既に存在する状態でスキャンを行った場合、スキャン後、移動先フォルダーにあるファイルは、画像 (1).tif、画像 (2).tif、画像.xml、画像 (1).xml となることがあります。

プロファイル画面のプロパティを閉じ、設定を適用するために、「[OK]」ボタンをクリックしてください。ネットワークスキャナーツール画面が表示されます。

プロファイル設定を確認する

プロファイルに指定されたオプションを確認するには、まずプロファイルをクリックし、次に「[プロパティ]」ボタンをクリックします。リストから「[プロファイル]」を1つ選んでダブルクリックしても、確認することができます。

プロファイル設定を削除する

プロファイルリストから削除するプロファイルをひとつ選択し、「[削除]」ボタンをクリックすれば、そのプロファイルを削除できます。確認メッセージが表示されるので、「[OK]」ボタンをクリックしてください。この操作により、スキャナータブで選択されたスキャナーから関連するプロファイルが削除されます。

プロセス定義のデフォルト設定を行う

プロファイルを何かひとつデフォルトとして設定するには、リストから選択して「既定値として設定」ボタンをクリックします。スキャナー設定の **Web** ページの宛先ディレクトリに **uri:scan/nst** が入力された場合、ここで設定したデフォルトのプロファイルが実行されます。デフォルトのプロファイルはプロファイルリストに太字で表示されます。

注意：ここで設定したプロファイルがこの操作により使用可能になったり、スキャナーの設定が更新されたりすることはありません。

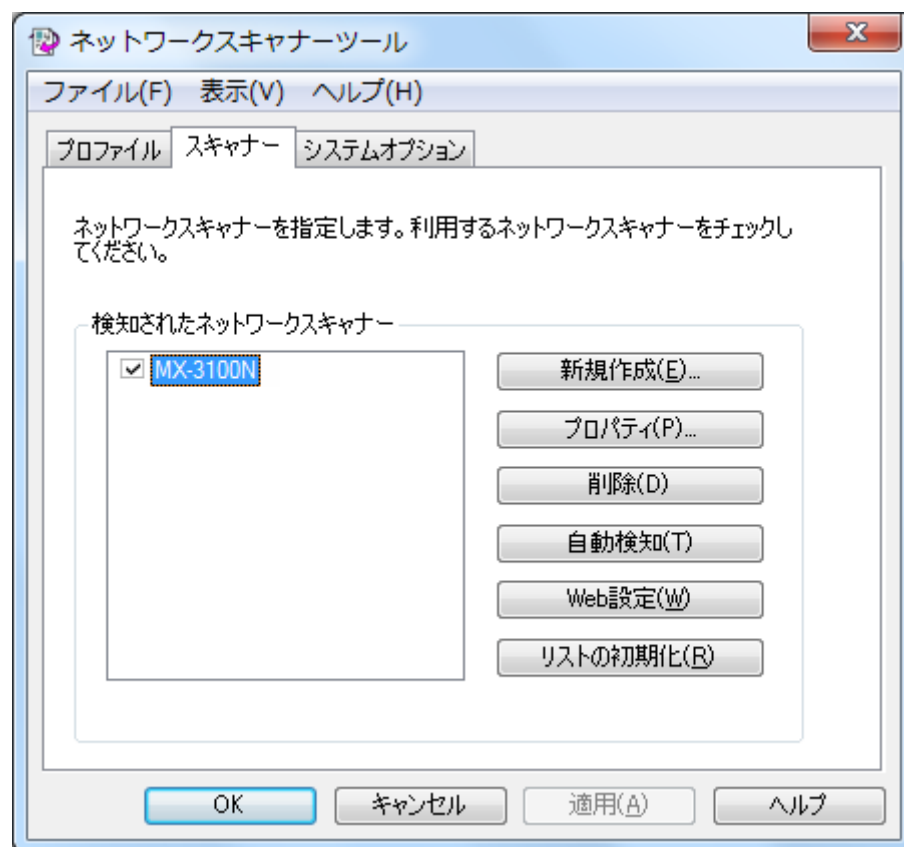
注意：デフォルトのプロファイルの自動設定は、PC で最初にネットワークスキャナーツールセットアップウィザードを起動し、プロファイルを設定したユーザーのみに限定されます。

設定の更新を有効にするには、**[OK]** ボタンまたは **[適用]** ボタンをクリックします。設定の変更を無効にするには、**[キャンセル]** ボタンをクリックします。

スキャナータブ


スキャナータブで次の設定ができます。


- ネットワークスキャナー機能搭載の新しいスキャナーの登録
- スキャナー側の設定オプションの確認と変更
- スキャナー登録の削除
- ネットワークに接続されたスキャナーの自動検知
- スキャナー側の設定値を変更するための Web ページへのアクセス
- スキャナーの使用可能/不可（チェックボックスを使用）
- ネットワークスキャナーリストを初期化する



[スキャナータブ] 画面

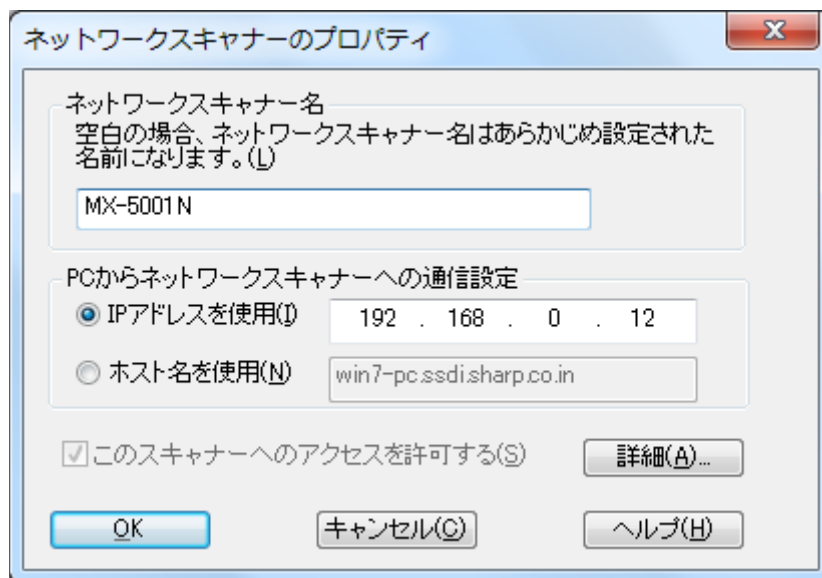
注意：

長期間（5日以上）プロファイルを更新できないスキャナーについては、""マークが表示されます。このマークは、ネットワークスキャナーツールがプロファイルを更新できた場合に消えます。

- PCが別のネットワーク環境に移動した場合、ネットワークスキャナーツールは「[検知されたネットワークスキャナー]」の中のいくつかのスキャナーにアクセスできない場合があります。その場合、「」マークが表示されます。

新しいスキャナーを登録する

新しいスキャナーは、「[スキャナー]」タブの「[新規作成]」ボタンをクリックすると登録することができます。「[スキャナーのプロパティ]」画面が表示されるので、新規登録する機種を設定します。ネットワークスキャナーツールにより自動的に検知されたスキャナーを選択する場合は、「[スキャナーのプロパティ]」画面にIPアドレスが表示されます。そうでない場合は、スキャナーの機種に合ったIPアドレスまたはホスト名を手動で入力しなければなりません。



「ネットワークスキャナーのプロパティ」画面

本画面から次のようなメニューオプションを設定できます。

ネットワークスキャナーツールに自動検知されなかったスキャナー以外の設定を行う場合は、そのスキャナーのIPアドレス、またはホスト名を入力してください。

IPアドレスを使用

IPアドレスを使用する場合、ネットワークスキャナーツールはIPアドレスがスキャナーに割り当てられていることを確認します。

第2章で説明しているシンプルアドレッシングまたはレギュラーDHCPポリシー環境下でネットワークが作動しているとき、スキャナー認識のために「[IPアドレス]」を選択することを推奨します。IPアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。


ホスト名を使用

第2章で説明しているフルDHCPポリシーまたは例外的DHCPポリシー環境下でネットワークが動作しているとき、スキャナー認識のために「[ホスト名を使用]」を使用さ

れることを推奨します。スキャナーのホスト名は、ネットワーク管理者に確認してください。

スキャナーのホスト名を入力し、[OK] ボタンをクリックして下さい。スキャナーが[検知されたネットワークスキャナー] リストに正しく追加された場合は、[ネットワークスキャナーのプロパティ] 画面で自動入力された IP アドレスを確認できます。

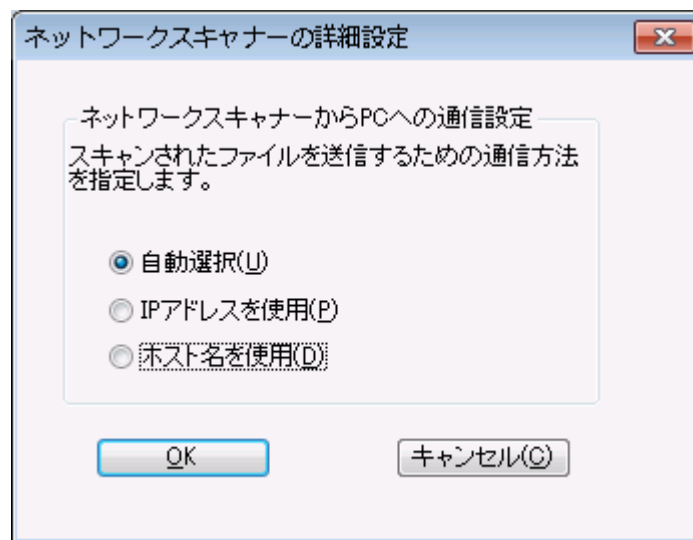
このスキャナーへのアクセスを許可する

このオプションにより、別のネットワークから選択したスキャナーへのアクセスを制御できます。“” マークが表示されたスキャナーは、「このスキャナーへのアクセスを許可する」オプションが有効になります。

このオプションが有効の場合は、ネットワークスキャナーツールは指定したスキャナーにアクセスします。そうでない場合は、指定されたスキャナーにアクセスしません。

詳細

[詳細] ボタンでお使いの PC のアドレスの指定方法が設定できます。



[ネットワークスキャナーの詳細設定] 画面

- 第2章で説明しているシンプルアドレッシングまたは例外的 DHCP ポリシー環境下でネットワークが動作しているとき、お使いの PC を認識するために [IP アドレスを使用] を使用されることを推奨します。
- 第2章で説明しているレギュラー DHCP ポリシーまたはフル DHCP ポリシー環境下でネットワークが動作しているとき、スキャナー認識のために [ホスト名を使用] を使用されることを推奨します。
- 選択後、[OK] ボタンをクリックしてください。

次の表に、ネットワーク環境ごとに推奨する設定をまとめています。

ポリシー	スキャナーへのアドレス割り当て	PC へのアドレス割り当て
1) シンプルアドレッシング	IP アドレスを使用	IP アドレスを使用
2) レギュラーDHCP	IP アドレスを使用	ホスト名を使用
3) フル DHCP	ホスト名を使用	ホスト名を使用
4) 例外的 DHCP	ホスト名を使用	IP アドレスを使用

注意：設定ウィザード実行後、選択したアドレス指定方法がこの表に一致しない場合があります。これは通常問題にはなりません。もしデスクトップへの取り込みプロファイルを使用してトラブルが生じた場合は、手動でアドレスを設定してください。

- スキャナー画面のプロパティ上で IP アドレスまたはホスト名を入力した後に、[OK] ボタンをクリックしてください。すぐにその処理設定が有効になります。

スキャナーのプロパティを確認/変更する

検知されたネットワークスキャナーリストから設定を表示または更新するスキャナーを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックしてください。スキャナーのプロパティ画面は指定したスキャナーの設定を表示し、上記で示したように更新することができます。

スキャナー登録を削除する

[検知されたネットワークスキャナー] リストから削除するスキャナーを選択し、[削除] ボタンをクリックするだけで、スキャナー登録を削除することができます。確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックしてください。

スキャナー登録を削除することによりそのスキャナーに対して動作中のプロファイルもすべて削除されます。

スキャナーを使用可能/使用不可にする

スキャナー名の前のボックスのチェックの有無により、お使いの PC へのデータ取り込みに、そのスキャナーが使用可能/使用不可のいずれかを選択できます。

注意：同じ PC で 2 人以上のユーザーがネットワークスキャナーツールを利用する場合、あるユーザーによって変更されたスキャナー設定は、他のユーザーのスキャナー設定にも影響します。

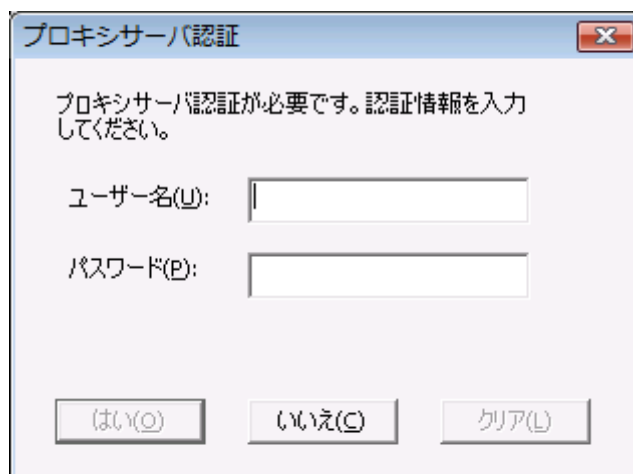
自動検知

このオプションにより、ネットワークスキャナーツールはネットワークスキャンが可能なローカルサブネット上のスキャナーの自動検知を行います。検知されたスキャナーはすべてリストに加えられますが、そのまま使用可能になるわけではありません。

ん。検知されリストに加えられた中から、ネットワークスキャナーツールとともに使うスキャナーを選択しチェックしてください。

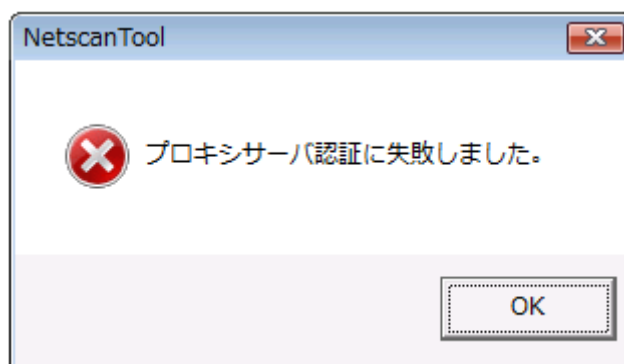
プロキシサーバー対応

デバイスの検索におけるプロキシサーバー対応により、ネットワークスキャナーツールからスキャナーへの通信において、ユーザーは、プロキシサーバー認証のための認証情報を入力することができます。



A dialog box titled "プロキシサーバ認証" (Proxy Server Authentication). It contains the text "プロキシサーバ認証が必要です。認証情報を入力してください。" (Proxy server authentication is required. Please enter authentication information.). Below this are two input fields: "ユーザー名(U):" (Username) and "パスワード(P):" (Password). At the bottom are three buttons: "はい(O)" (Yes), "いいえ(C)" (No), and "クリア(L)" (Clear).

認証情報の入力を3度間違えた場合は、次のエラーが表示されます。



このエラーが発生した場合、ユーザーは再度自動検知を行った上で、正しい認証情報を入力する必要があります。

Web 設定

注意：この機能を利用するには、管理者のログインが要求される場合があります。

このオプションは、スキャナー側の設定値を変更するために、スキャナーの Web ページを利用する時に使います。検知されたスキャナーリストからスキャナーを選択し、[Web 設定] ボタンをクリックすると、Web 設定ページに接続することができます。Web ページ上でプロファイルの登録や削除を行うと、ネットワークスキャニングツール内のプロセス定義リストが無効になるので、行わないでください。

リストの初期化

このオプションにより、ネットワークスキャナーツールは同じネットワーク（ローカルサブネット）上で利用可能なスキャナーの検知を行い、プロファイル処理を実行できないスキャナーを削除します。

スキャナータブの情報を入力または更新した後に、[適用] ボタンをクリックすると、更新した内容を適用し、ネットワークスキャナーツールはアクティブなままとなります。[OK] ボタンをクリックすると、変更を適用し画面を閉じます。変更を保存せずに画面を閉じる場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

設定の更新を有効にするには、[OK] ボタンまたは[適用] ボタンをクリックします。設定の変更を無効にするには、[キャンセル] ボタンをクリックします。

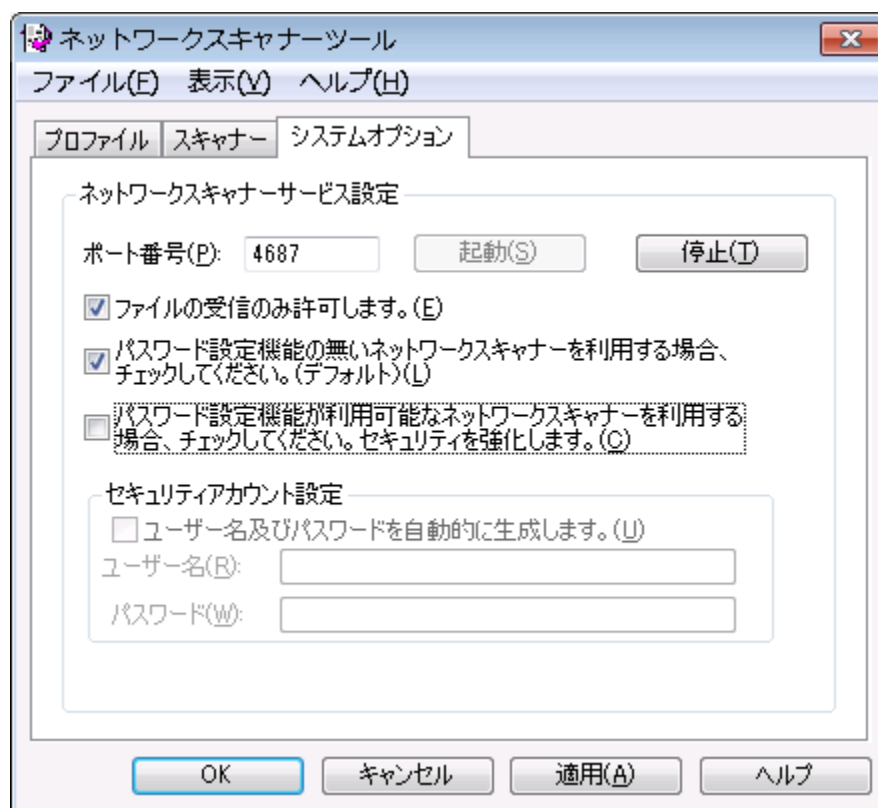
第2章で説明している 3) フル DHCP, 4) 例外的 DHCP ポリシー環境下でネットワークが動作しているとき、スキャナーの IP アドレスが変更になり、当該スキャナーに登録されているプロファイルの登録・削除・編集ができなくなる場合があります。この場合は、[自動検知] ボタンまたは[新規作成] ボタンを使用して当該スキャナーを再登録してください。[新規作成] ボタンを使用される場合は、変更後の IP アドレスを使用してスキャナーを再登録してください。

システムオプション タブ

ネットワークスキャナーツールは、設定した FTP サーバーを利用して動作します。この FTP サーバーは [システムオプション] タブにより制御します。このタブでは、お使いの PC との通信や FTP サーバーの読み取りを行うために、FTP のポート番号を設定することができます。

注意：ネットワークスキャナーツールを開始すると、FTP サービスが自動的に起動します。[停止] ボタンを使用すると、サービスを停止し、[開始] ボタンを押すと再スタートします。

セキュリティ保護のため、標準の FTP ポート番号ではなく独自のポートを使用し、ファイルの読取専用にすることをお勧めします。[ファイルの受信のみ許可します] をチェックしておけば、FTP サーバーへ送信したファイルを他の PC から読むことはできません。



[システムオプションタブ] 画面

FTP ポート番号

ネットワークスキャナーツールは標準 FTP ポート番号(21)以外のポートを使用することができます。1025-65535 の範囲内でポート番号を指定できます。スキャナーの Web ページで作成した FTP プロファイルを使用し、スキャンする場合はポート番号を 21 に設定する必要があります。

ファイルの受信のみ許可します。

本オプションを選択した場合、スキャナーが **FTP** ルートディレクトリにファイルをアップロードするためにのみ **FTP** サーバーは動作します。選択しない場合はアップロードもダウンロードも可能です。

パスワード設定機能の無いネットワークスキャナーを利用する場合は、チェックしてください。(デフォルト)

本オプションを選択した場合、**FTP** サービスは **Anonymous** ログインを許可します。ユーザーが **Anonymous** でパスワードは有効な電子メールアドレスです。本オプションはさらにセキュリティ保護された **FTP** ログインをサポートしていない旧式のスキャナーからスキャンするために必要です。

パスワード設定機能が利用可能なネットワークスキャナーを利用する場合、チェックしてください。セキュリティを強化します。

本オプションを選択した場合、セキュリティ保護されたアカウントオプションが利用可能になります。[ユーザー名及びパスワードを自動的に生成します。] にチェックを入れると、ユーザー名とパスワードが自動的に生成され、ユーザー名とパスワードのフィールドに入力されます。

ユーザー名およびパスワードには、英数字(a-z, A-Z, 0-9)、スペース、記号のみが利用できます。全角文字は利用できません。

設定の更新を有効にするには、[OK] ボタンまたは[適用] ボタンをクリックします。設定の変更を無効にするには、[キャンセル] ボタンをクリックします。